



# 未来を拓く 愛荘 16年教育



今年度4月から、「未来を拓く愛荘16年教育」をスタートしました。この教育は、母親のおなかの中で生を受けた胎児が、義務教育である中学校を卒業するまでを「人生のベース（基礎）を確立する16年」ととらえ、心身の発達を育てていくものです。子育て・保育・教育にかかる施策を全庁・全町的に取組み、16年間の積み上げを図っていきます。

人の脳の前部分、「前頭前野」を活発に働かせることは、子どもたちの健全な育成につながります。

「読み・書き・計算」を毎日少しずつ継続的に取り組むことで、前頭前野を鍛えることができますと言われています。



ALT との外国語学習



ボランティアによる読み聞かせ



おひさでだっこのおはなしかい

※5 就学前の時期においては、福祉部門（健康推進課等）と教育委員会が連携を密にして、取組を推進します。



子育て支援センター「わんぱく広場」

## めざす子どもの姿

知: 主体的・自立した学び、探究的な学びができる子ども  
徳: 自他を尊重し、社会の一員としての自覚をもつ子ども  
体: 自己の生活時間をコントロールできる子ども

知: 主体的・対話的な学びができ、考えを深められる子ども  
徳: 自他を大切にし、多様な人々と関われる子ども  
体: 基本的な生活習慣を身につけ、日常生活が送れる子ども

知: 遊びを通し、意欲や達成感を感じることができる子ども  
徳: 遊びで感じた思いを友だちと共有し、仲良くできる子ども  
体: 早寝・早起き等のリズムのある生活を送れる子ども

中学校卒業

中学校入学

小学校卒業

小学校入学

幼児卒園 (5才児)

乳児期

胎児期

## 未来を拓く意欲に満ちた「愛荘っ子」

豊かなコミュニケーションを育む取組 (国際理解、外国語等)

メディアコントロールされた生活習慣の確立

※4 「愛荘スタンダード」の実践

読み聞かせ、読書の「乳保幼小中」一貫教育

※5 お母さん、お父さんへの支援・啓発・教育相談活動

脳の発達・成長を促す取組「減メディア・親読書」

## 「未来を拓く愛荘16年教育」

しなやかでたくましい心身を育む取組

基礎的読解力を育成する取組

キャリア教育  
こころざしの教育

豊かなつながり、  
人権感覚・感性  
(人権教育)

郷土学習

食育の推進

自然に親しむ活動

※3 自尊感情の育成  
メンタルヘルス予防教育

温かい親子関係  
家族コミュニケーション

※1 RST等調査による分析・検証・改善

個別最適化された学び  
(タブレットドリル等  
ICT機器活用)

※2 「NIE」  
「朝読」  
「並行読書」

「一人勉強」  
できる力の育成

「読み」「書き」に  
関する徹底教育

授業改善(主体的・  
対話的で深い学び  
の充実)

自尊感情の育成(お誕生会の取組)

※3 長所も短所もひっくり返して、自分自身を  
かけがえのない存在と思う気持ち



タブレットによる朝学習

※1リーディングスキルテスト(RST)  
文章、図やグラフ等に書かれている意味を正確にとらえる力(基礎的な読む力)を測定・診断するテストで、その結果をもとに、学力向上につなげる取組を進めます。

※2NIE  
新聞を教材として活用し、読解力の向上、興味・関心の幅を広げる取組のことをいいます。



郷土学習(古墳公園)



授業改善(学ぶ力向上)



自然に親しむ活動(稲刈り体験)